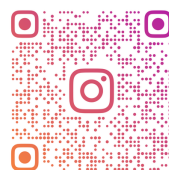


学生と企業をつなぐ「デアイバ」開催！

人材屋新聞

2026年09月号

Instagram



YouTube



TikTok



OF A北九州が創る、

新しい採用・就活のカタチ

人材屋では、地域の人材確保に向けた取り組みの一つとして、北九州市主催「OF A北九州」の運営を行っています。今期で第三期目を迎えるOF A北九州は、従来の採用イベントや企業説明会とは異なり、参加企業と学生が約十ヶ月にわたり、ワークショップや各種イベントを通じて交流を深め、相互理解を図るプロジェクトです。第二期では、参加企業へ合計二十名の内定者を輩出しました。今回は、OF A北九州のメインプログラムの一つである「デアイバ」をご紹介します。デアイバは、期間中に全四回開催される対面型のマッチングイベントです。企業による三分間の企業紹介の後、学生は一回十五〜二十分の対話を通じて企業理解を深めます。興味のある企業との「必然の出会い」に加え、普段接点のない企業との「偶然の出会い」も設けることで、業界研究や企業研究の機会を創出しています。また、夏季インターシップへの参加促進にもつながる内容となりました。

第一回は学生二十五名、企業九社が参加しました。これまでのワークショップで築かれた関係性もあり、会場は終始和やかな雰囲気包まれ、初参加の学生も積極的に交流を楽しんでいました。学生と企業が気軽に対話できる環境が、多くの新たな出会いにつながる機会となりました。

今後も人材屋は、「デアイバ」を通じて学生と企業の出会いを支援し、双方にとって実りある関係づくりをサポートしてまいります。



【第二回】密着、新人育成ストーリー

今回は、入社後初めてお客様からご依頼をいただいた際の気持ちや、その過程で得た学びについて紹介します。日々お客様と向き合いながら成長する二人の姿をお届けします。

「新しい一歩を踏み出せた」 村山君。

「ノリと勢いで受注しました！」と笑顔で切り出した村山君ですが、もちろん冗談です（笑）実際には、採用に関する課題を抱える企業様との出会いを求め、日々多くの企業様へ足を運びながらお話を伺ってきました。活動を始めて最初の一ヶ月は、なかなか成果につながらず苦しい時期もあったそうです。それでも諦めることなく、お客様との対話を重ね、一社一社と真摯に向き合い続けた結果、初めてご依頼をいただくことができ、その瞬間は、「前職で初めて成果を上げたときよりも嬉しくて、新しい一歩を踏み出せたと感じました」と振り返ります。

「自分でもやれるんだ！」 恵良君。

恵良君の初めてのご依頼は、これまで何度もお声がけを続けていた企業様への訪問から生まれました。なかなかお話を伺う機会をいただけない中でも諦めずに行動を続ける一方で、先輩社員の商談に同行する機会がありました。その姿を目の当たりにし、「やっぱりすごい。自分もやってやる！」という思いが強くなったそうです。一方で、営業には決まった正解がなく、「自分らしい営業とは何か」と悩むこともありました。また、お客様との関係づくりや、お困りごとを引き出して提案につなげることも苦労したそうです。それでも経験を重ねた結果、初めてご依頼をいただくことができました。その時、「自分でもやれるんだ！と本当に嬉しかったです」と振り返ります。さまざまな壁を乗り越えてつかんだ経験は、自信につながったようです。

夏の思い出

今年の夏休みは、家族や友人とゆっくり過ごしたり、近場へ出かけたりしてリフレッシュしました。毎日暑い日が続きましたが、美味しいものを食べたり、夏らしい景色を楽しんだり、季節を感じながら充実した時間を過ごすことができました。皆さまはどのような夏休みを過ごされましたでしょうか。まだ暑さの残る時期が続きますので、どうぞお体に気を付けてお過ごしください。これからも元気いっぱい、皆さまのお役に立てるよう頑張っています。

